

心理力動介入分析法

PAS心理療法実践技法

ベーシックコース No.1712 (1単位)

開講日時: 月1回 第2月曜 4月スタート 19:00~21:00

4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 8/10, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14, 1/11, 2/8, 3/8

基礎技術	展開技術	発展技術
1講 3M 面接構成法	5講 再構成介入分析	9講 中核徹底操作
2講 介入ノーダルポイント	6講 DER 構成介入	10講 自己受容徹底操作
3講 微分介入	7講 抵抗介入分析	11講 変化の介入分析
4講 乱取り練習	8講 転移介入分析	12講 総合乱取り練習

受講料 : 86,400 円 (全 12 回) 定員 : 20 名
34,560 円/1 クール 4 回

申込方法 : 申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスまたは郵送にて研究所にお送りください。

介入分析法とは、セラグノーシス(therapy + diagnoses = theragnoses)すなわち、セラピー面接の展開と同時並行して分析と診断を進める3次元から4次元展開の面接技法を言う。力動的アプローチと言いながら、メンタルプロセスが時々刻々に動いている力学を、従来の再構成で辿るのでは実際は過程力学を捉えることはできない。微分的介入ポイントに介入し、その刺激反応過程を量子論的に分析することによって見えない心理過程を可視化できる。瞬間瞬間に人が変化する力動を捉えることができるのである。

コース要綱

受講者は臨床自験例の中から、自身で治療過程の力動展開を可視化したい事例を一事例選り、クラス展開の中で介入分析法を実践的に学ぶ。個人力動は個人が所属する集団や組織の力動下にある。言い換えれば個人力動から組織力動が、組織力動から個人力動も可視化できる。本コースでは、常に力動展開にある人の心理力動を捉える新しい量子論的分析法を学び練習する。心理療法展開の今ここでの時間次元で、表層から深層に向けての時々刻々の縦の力動分析法を実務的に身につける。



本コースは、継続して受講することかでき、その場合には4単位まで新たな1単位として認められる。臨床を続ける限り、このような技術練磨の場を持つべきであり。武道における道場のように通い続ける場として提供されるものである。

他のコースと組み合わせて、カウンセリングや心理療法の基礎を学ぶためのコースもあります。HPを参照ください。



遥かなる山の呼び声

遥かなる山の呼び声は、男の子が男になっていく父との別れを象徴するものです。それと並行して母なる大地とそこから山や谷を生む女性の物語が常に存在します。壮大な心の物語です。

講師

小谷英文, Ph.D. CGP
当研究所 理事長
国際力動的心理療法学会 理事長
中村有希, Ph.D.
PAS セラピスト ディレクター

主任講師紹介

佐治守夫、鐘幹八郎、村山正治、土居健郎の強い影響を受け、1975 年、アメリカに渡った。ヒッピーたちの聖地とも言われたエスリン研究所、そして C.R. Rogers のもとに赴き、人間の潜在能力を浮上させるアプローチを種々学んだ。次いでニューヨーク大学医学部卒業後研修コースおよび G.F. ダーナー研究所での訓練、研究をもとに精神分析的システムズ心理療法、略称 PAS 心理療法を開発し、アメリカ精神分析医協会元会長 Edward L. Pinney と共に国際力動的心理療法学会を設立した。

テキスト

(2010) 現代心理療法入門
(2008) ダイナミック・コーチング
(1993) ガイダンスとカウンセリング



PAS 心理教育研究所

153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9

電話・Fax : 03-6407-8201